

タイトル	オープンイノベーションチャレンジによる企業との連携について
------	-------------------------------

いつ 実施日時・工期	令和3年10月18日（月）～令和4年2月末
どこで 会場・開催地等	和光市
だれが 主催者・関係者	和光市、内閣府、株式会社モピ、株式会社遭遇設計
なにを 事業内容など	2事業の連携内容は、下記のとおりです。 (1)【マイクロ・ロボットタクシー】自動運転の低速EVを使用したモビリティサービス（株式会社モピ） (2)オンラインお仕事ボードゲームで非認知スキルの可視化と育成（株式会社遭遇設計）
なぜ 目的・理由	2事業の取組内容は、下記のとおりです。 (1)既存の公共交通機関では対応しきれない、道路が狭隘なエリアにおける交通ニーズを満たす取組。 (2)小・中学校に配布するタブレット端末に新たなキャリア教育を導入する取組。
どうした 経緯・経過	内閣府が実施している行政側の様々な課題に対して、新技術・新サービスの導入により、解決を図る取組のオープンイノベーションチャレンジで認定されたため、事業を推進する。
金額	なし

そ の 他	
問い合わせ先 担 当 課	課 名 政策課 氏 名 中川 大 電 話 0 4 8 - 4 6 4 - 1 1 1 1 (内線 : 2 3 5 3)

オープンイノベーションチャレンジによる企業との連携について

和光市役所企画部政策課

オープンイノベーションチャレンジについて

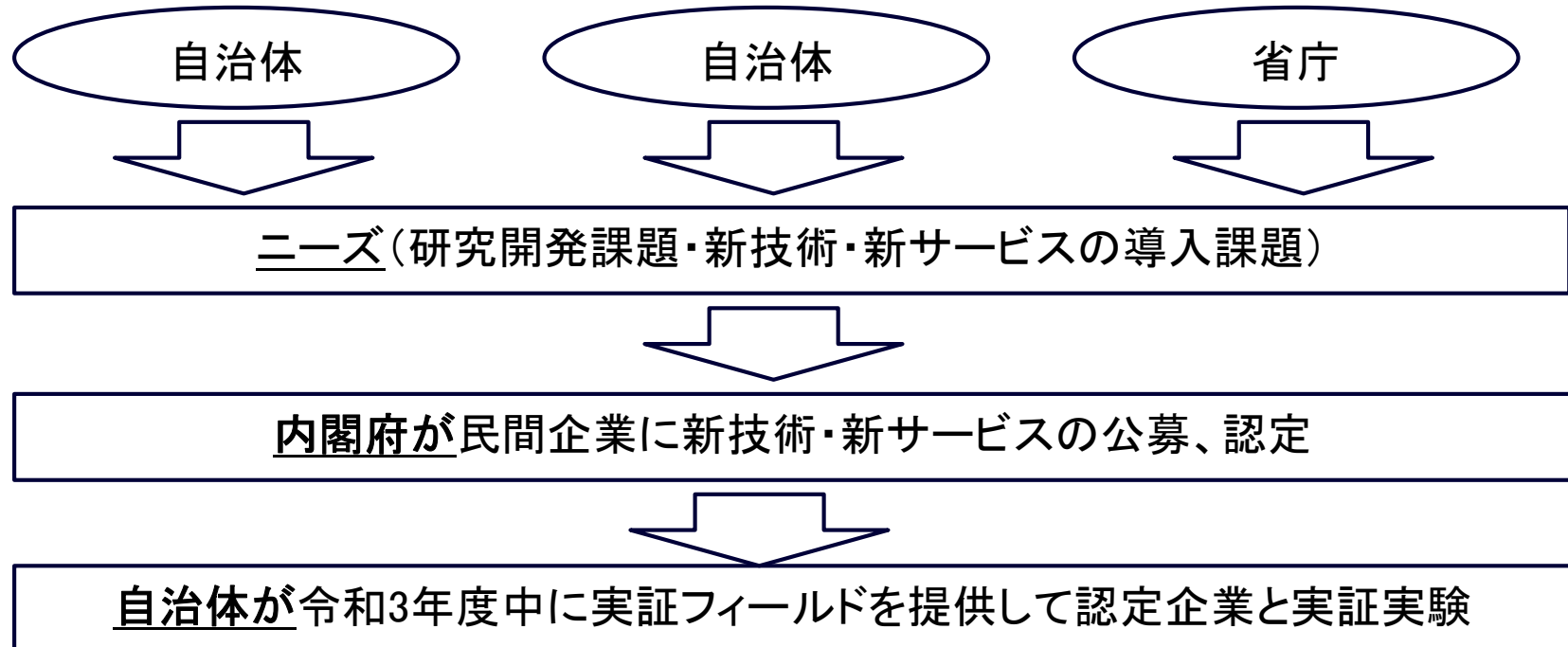
【オープンイノベーションチャレンジとは】

内閣府によるベンチャー企業等のイノベーション推進の取組の一環として、ベンチャー企業等の新技術・新サービスと自治体等のニーズをマッチングする事業

【和光市の参加の背景】

内閣府「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の構成市としてニーズ調査に協力

□事業のスキーム



内閣府が認定した事業① ～道路が狭隘なエリアにおける交通ニーズ対応～

【和光市が提示したニーズ(課題)】

既存の公共交通機関では、対応が難しい道路が狭隘なエリアにおける交通ニーズを満たす手法の探索 ※市の財政負担が生じないことを実施の条件としている

【事業者(株式会社モピ)からの提案】

自動運転の低速小型EVを活用したオンデマンドのモビリティサービスの試行



実証実験事例(事業者提案書より抜粋)

【想定される実証実験の概要】

- 道路状況などに合わせた車両の検討
- スマホアプリやAIによる音声会話などの車両の呼び出しの仕組みを検討
- 和光市駅やバス停と接続するルート設定のうえ、実証実験の実施

⇩ 本市としての期待

和光版MaaS事業における重要課題であるラストワンマイルの交通ニーズを満たすための1つの選択肢として期待

内閣府が認定した事業② ～タブレット端末を活用したキャリア教育～

【和光市が提示したニーズ(課題)】

小・中学校に配布するタブレットを活用したキャリア教育に関するコンテンツ・アイデアの探索 ※市の財政負担が生じないことを実施の条件としている

【事業者(株式会社遭遇設計)からの提案】

企業研修で活用されているビジネスボードゲーム(オンライン版)を学校教育に活用



コミュニケーション力

ヒーローインタビュー



チームビルディング力

ウツ会議



営業・販売力

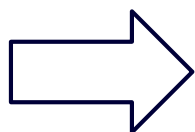
あなたに売れないものはない



発想力

地方想生

オンラインお仕事ボードゲーム例(事業者提案書より抜粋)



期待される効果

- 非認知スキル(学力以外の生きていくために必要な能力)の向上
- 仕事の疑似体験による新たなキャリア教育の選択肢の開拓